

### 第3回 浜黒崎小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和5年10月10日（火）

開催時間：19時～20時20分

開催場所：浜黒崎地区センター

出席者：渡辺会長、谷井副会長、仲田副会長、飯山委員、温井委員、長谷川委員、  
堀井委員、松井委員、佐藤委員、宝田（隆）監事

事務局：教育委員会事務局理事 古西 達也  
学校再編推進課長 山口 雅之  
学校再編推進課主幹 高岡 太郎  
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介  
学校再編推進課計画係主査 村石 篤彦

#### 《開会》

【司会】 第3回浜黒崎小学校のあり方協議会を開催する。  
本日、都合により5名が欠席している。  
(会長 挨拶)

#### 《前回振り返り》

【会長】 前回協議会の水橋地区の高柳委員長による御講演について、事務局より補足説明をする。

【学校再編推進課長】 委員の皆様より特に合意形成に関する部分について御質問があった際、高柳会長よりワークショップを開催し意見を募ったとお答えいただいたことについて、1点訂正がある。このワークショップは令和3年9月に開催し、新しくつくる統合校のコンセプトや、既存校の跡地活用についてをテーマとして御意見をいただいたものであり、学校統合するかどうかの合意形成の段階のワークショップではなかった。  
合意形成に至る経緯については、資料1により補足説明をする。  
(水橋地区統合校設置に向けた動きについて説明)

【会長】 今の説明について、質問等はあるか。

【委員】 各校区での説明会では、こういった内容を説明されたか。

- 【学校再編推進課長】 初回は当協議会における事務局の説明と大差はなく、今後の児童数の推移、小規模校、適正規模校のメリット、デメリット等が中心、2回目以降は住民の皆様からの質疑が中心である。
- 【会長】 開催時間はどれぐらいか。
- 【学校再編推進課長】 開催時間の記録は残っていないが、恐らく1時間程度と思っている。
- 【会長】 質問等は活発に出たか。
- 【事務局】 保護者の皆様からたくさん質問をいただいた。
- 【会長】 基本的には賛成が7割、8割であることで、跡地をどうするかといった質問のほうが多かったか。
- 【事務局】 はい。
- 【委員】 住民の出席人数は。
- 【事務局】 30人前後である。
- 【委員】 もし浜黒崎で説明会をするとすると、5つある公民館それぞれではなく、例えば小学校で1回説明を受けるといったことになるか。
- 【学校再編推進課長】 そこは御相談させていただきたい。
- 【委員】 統合に賛成か反対かをはっきりさせればいいのではと感じた。今はどちらにしようか悩んでいると思うので、住民説明会を早くしたほうがいいのでは。
- 【会長】 水橋地区の説明会には全て町内会長を呼んでいるのか。
- 【学校再編推進課長】 ある程度、町内会長に声をかけるなどしないと、(出席者が)集まらなないと推測する。現に、役員の方の方向けの説明会だと役員の方が来られるが、誰でも参加できるような説明会は役員の方も来られない場合がある。
- 【委員】 住民への伝達方法は。
- 【学校再編推進課長】 自治振興会が主体となっていた。
- 【会長】 一般住民の方も来ていい場だったか。
- 【学校再編推進課長】 はい。ただし、一般住民の方はなかなか来られない。
- 【委員】 水橋地区の場合は自治振興会のトップ同士である程度合意形成をした上で、地域住民の方に説明をされていたが、PTAに対するアンケート結果が重要だったのではと感じた。PTAへのアンケートは地域住民への説明よりも前に行ったか。

【学校再編推進課長】 時期は各校区によるが、統合に向けて賛成か反対かと、懸念することの自由記述のような簡単なアンケートだった。

【委員】 母数がどの程度か分かりかねるが、自ら賛成の意思表示をされる方が保護者の中では多かったということか。

【学校再編推進課長】 はい。

【委員】 水橋地区の流れに合わせるならば、浜黒崎地区住民に説明してアンケートをとり、各町内会長に一任して意見をとりまとめていただいて、最終的に自治振興会に持ってくるという形がよいか。

【学校再編推進課長】 浜黒崎地区の場合、当協議会があるため水橋地区と全く同じには当てはめられない。例えば、当協議会としては統合の相手校を大広田小学校としてSTEP 2に進もうと思っているというような、ある程度具体的な方向性も示した上でのアンケートでないと、反対意見は出しにくい。将来子どもたちは減っていくので再編について検討するということは恐らく誰も反対しないので、それで説明会を開催しても、(自分の)子どもたちは(卒業してしまうので)もう関係ないというふうになってしまう恐れがある。

【委員】 我々が今ここで方向性を決めて、説明会をするということか。

【学校再編推進課長】 具体的にしないと、恐らく意見は出てきにくい。

【委員】 「検討している。皆さんはどう思われますか。」でよいのでは。

【委員】 いろんな人の意見を聞く場は必要ではないかと思うし、何か言いたいけどどこに言っていいか分からない人もいるかもしれないと思う。統合ありきの話ではなく、こういう話が出ていると伝えることは必要かと思う。

#### 《議題進行：①浜黒崎保育所保護者アンケートの結果について》

【会長】 浜黒崎保育所保護者アンケート結果について事務局より説明する。

#### 《事務局説明》

【学校再編推進課長】 (浜黒崎保育所保護者アンケート結果について説明)

#### 《意見交換》

【会長】 アンケート実施期間はどれくらいか。

- 【学校再編推進課長】 10日余りである。
- 【会長】 今の説明について、意見等はあるか。
- 【委員】 回答していない30人が浜黒崎地区の住民かどうか、なぜ回答しないのかが気になった。

《議題進行：②各種団体や保護者からの意見聴取状況について》

- 【会長】 児童クラブやPTAでどのような意見や声が上がったか。
- 【委員】 保護者から意見を聞いた順に、統合は嫌だと最初に言われた。統合ありきではないのか、小規模は小規模のよさがある、もっと人が来れるようにしたらいいと思うと、もし意見を書く場所があるならば書くと言っていた。
- 次に、統合されたらされたていいが、自分の上の子は、小規模のほうが合っていると言われた。
- 続いて、スクールバスが出れば大丈夫と言われた方が2人ほどいた。岩瀬、大広田、浜黒崎の統合でもいいのではないかと、ゆくゆくは中学校も統合すればいいのではないかと、ただし地域の行事は残ればいいとも言われた。
- また、少人数では競争心もないので、すぐにでも統合するべきだと言う方もおられた。
- 一方で、今度新1年生になる子の保護者で、統合の話は聞いたことがなかったという方もおられた。
- 【委員】 あるお年寄り、ずっと浜黒崎に住んでいるので、(浜黒崎小学校が)なくなるのは寂しいが、孫が(浜黒崎小学校に)いるときの統合ではないからちょっとほっとしていると。
- 別の保護者の方は、家から歩いて(大広田小学校は)近いから(統合してもしなくても)どちらでも大丈夫だが、おじいちゃんは浜黒崎(小学校卒業)だから寂しさもあるという意見。
- 子どもの意見として、大広田の子は性格が悪いから嫌だ、思い出がたくさんあるから(浜黒崎小学校が)なくなるのは嫌だ、少ない人数のほうが過ごしやすいといった声もあった。

- 【会長】           ありがとうございます。
- もう少し時間をかければ自然に意見が出てくる気もするので、各委員におかれては、これから年内の会合等で可能な範囲で投げかけていただきたい。
- 【委員】           協議会だよりを回覧板に乗せて、全員が目にするようなところで、こんな動きをしていると伝えてはどうか。
- 【委員】           今回会合についても協議会だよりは発行されて全戸配布されるのでは。
- 【委員】           それでもやはり届いてない、知らないという人が多いので、見てもらうために回覧板に乗せるだけでも働きかけたい。実際、回覧板に入れるだけでも全然違う。こんな話をしてるんだ、じゃあ何か言いたいという人が結構出てくるかもしれない。
- 【会長】           自治振興会長の立場で発言する。各町内会長を集めた理事会を11月頃に予定している。その際、会長として投げかけをし、さらに町内役員会等でも投げかけをお願いしようと思っている。まだ（学校再編を検討していることを）知らない人もたくさんおられると思うので、まだ相当時間がかかるのではないかと思う。まずは、私や、各委員の皆さんに投げかけていただいて、地域の皆さんにも浸透していったら、意見が上がってくれば、当協議会の場で協議もしやすくなるというストーリーを考えている。
- 意見を募る中で、厳しい意見も言われるだろうと思うが、これは覚悟してほしい。せっきやく皆さんが集まって、行政も入っているのだから、少しずつ当協議会としての方向性を決めていければと思っている。
- 【委員】           住民アンケートも一番最初に取りっており、議論はスタートしているわけで、何回かステップを踏んで、いろんな情報を発信しているけれども、なかなか仕上がってこないというのが現実だと思う。やはり協議会としての方向性がないと意見も聞きづらい。近々、何か方向性を見いだしていかないといけないのではないか。
- 【委員】           私自身もまだ知識不足で、色々な人の考え方もまだ全然分かっていないので、情報収集も必要。

- 【会長】 委員の皆さんは各種団体のトップであり、事務局から資料提供も受けており、知識がないわけではない。現在の状況などを住民の皆さんに知っていただいて、それに対する意見があれば答えればいいし、分からなければ私（会長）に聞いてくれと言ってもいい。住民の皆さんの意見を聞きながら、事務局の資料も見直して、委員一人一人の意見を活かしたい。
- 【委員】 事務局からの資料をかみ砕いた、たたき台のような簡単な資料を基に話をするのはどうか。
- 【学校再編推進課長】 実際、統合というのはこの校区だけで決められる話ではなく、この後は相手方に浜黒崎の希望を聞いてもらえるのかどうかという話もあり、何年後に確実に統合できるとは、我々としてもお約束できない、難しいところである。
- 【委員】 一方で、複式学級が発生するリミットが何年後かは、もうほぼ決まっているのでは。
- 【学校再編推進課長】 基本的には（決まっている）。
- 【委員】 複式学級が発生する時期が見込まれるからそこで統合したほうがいいと言えば、そこから前倒しに話をしなければいけない。
- 【会長】 極端な話、大広田地区が反対することは正直ないと思っているが、それ（相手方の合意を必ず得られるとは言えない）を言われると、なら統合はやめましょうという意見は絶対出てくる。そういうプライドは持っている校下だと思うので。
- 【学校再編推進課長】 過去に都心地区の統合から抜けた柳町地区も、統合に反対だったわけではない。統合する場所など、各校区間での話合いの中で、御破算になっていった。大広田地区が統合に反対すると私も現時点では思っていないが、この後の統合検討協議会での話合い次第だと思う。
- 【委員】 相手方のPTAが嫌と言う可能性もある。
- 【学校再編推進課長】 現行のPTAの行事などを統合後も継続したいときに、大広田小PTAからどういったご意見が出るのかはわからないが、そこが最終的な決定打（になるかどうかはわからないが）とはならないように進めていきたいとは思っている。
- 【会長】 大広田小PTAの活動をしているのは、どういう人たちか。

- 【委員】 会長のほかは挙手制で、今はまだ集まってくれているが、やはり同じメンバーが集まる傾向があると聞いている。
- 【委員】 (人が集まるのは) 会長の人望か、それとも本人がやりたいからか。
- 【委員】 浜黒崎と同様、会長が誰だろうと、こんなことをすると言えば、昔からの面々が集まってきてくれるのではないかと思う。児童クラブは、女性の会長のもとで結構活発にやっている。
- 【委員】 P T Aのなり手については大人の事情だ。
- 【委員】 例えば、児童クラブ、育友会、健全育成、保育所等を対象に、一度当協議会として説明会をすることで、その人たちにも分かってもらえるのではないか。それが一番大事ではないか考える。
- 【会長】 承知した。
- 【委員】 説明会は、ぜひ小学校や保育所も含めて、保護者レベルでやっていただきたい。昨日も育友会の会合で委員より説明したが、役員の方々も急に意見が出せるものでもなく、議論に置いて行かれているようにも見えた。役員も含めた保護者に対して、(市教委から、当協議会へしたのと) 同じ内容を説明してもらい、その後にアンケートをとれば、一つの結果として出てくるのではないかと思う。
- 【委員】 (この協議会での検討事項について) 知らない人はたくさんいる。
- 【会長】 市教委に説明会に来てもらうことはできるか。
- 【学校再編推進課長】 はい。
- 【事務局理事】 誰向けかは皆さんで判断していただければよい。
- 【学校再編推進課長】 参考に申し上げる。直近で、池多地区と古沢校区でも説明会をしてほしいという声があり、今月開催する。小学校と未就学児では父兄が重なる場合も多いため、まとめて小学生以下の父兄を対象としている。
- 【委員】 それがいい。
- 【委員】 今年は150周年ということもあり、若い人もそのような案内に対しては少し敏感になってきているのではないかと思う。
- 【会長】 意見が出尽くしたようなので、意見交換を終了する。

《事務連絡：池多小学校及び大広田小学校への視察について》

【会長】 池多小学校及び大広田小学校への視察について事務局より説明する。

【学校再編推進課長】 (池多小学校及び大広田小学校への視察について説明)

【会長】 平日だが、ぜひ参加して今後の参考としてもらいたい。出欠は事務局へ連絡していただきたい。

事務局から他に連絡事項はあるか。

《閉会》

【司会】 第4回協議会は、大広田小学校と池多小学校の見学会後に開催を見込んでいる。後日改めて詳細を案内する。

以上をもって、第3回浜黒崎小学校のあり方協議会を終了する。

— 了 —